

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 5月23日更新

事務事業名		基準点測量事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	事業部	課長名	水野 孝春
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	建設課	担当者名	石原 光朗
	基本事業	16	計画的な市街地の形成			所属班	管理計画班	(内線)	2253
予算科目		会計一般	款 8	項 2	目 2	事業連番 10151	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ③	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	地球上の位置や海面からの高さが正確に測定された三角点、水準点から導き出し、地図作成や各種測量の基準として設置している。また、土地の境界や面積が再現されるなど、個人の財産を守ることに役立っています。測量に基準点ではなくてはならないので、設置を開始した合志市では、測量が必要な事業がたくさんある
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	基準点の管理設置箇所調査、設計、発注、検査、支払い
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 基準点がない箇所が多いので、もっとあったほうがよい要望があるところをやったほうがいいのかという意見があった。監査からは、もっと早い時期に委託してはという意見があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)		26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
3級基準点5点設置しました。(移設5点)		基準点の管理(破損、紛失の調査) 3級基準点の設置 旧合志町に比べ、旧西合志地区の基準点が少なかったので中心整備を行ってきたが、整備が進んできたので、基準点が工事等により紛失したところなどを中心に行っていく予定である。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア: 基準点設置数	箇所		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
土地		→ア: 合志市の面積	Km ²
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
境界や面積が再現され、個人等の財産が守られる。		→ア: 公共測量に伴う利用数	回
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
境界や面積を再現するためには、精度の高い基準点を市内に多く設けることで土地の管理が行いやすくなる。			全体計画
			~ 年度
			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込	
①活動指標	ア	箇所	794	802	804	802	814	824	834	844	
	イ										
②対象指標	ア	Km ²	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	
	イ										
③成果指標	ア	回	5	5	5	5	5	5	5	5	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	1,417	1,134	1,200	997	1,200	2,000	1,200	1,200
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	4	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	75	0	75	163	75	75	75	75
(B)人件費計		千円	302	0	305	649	305	305	305	305	
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,719	1,134	1,505	1,646	1,505	2,305	1,505	1,505	

事務事業名	基準点測量事業	所属部	事業部	所属課	建設課
-------	---------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 平成25年度は新設を行わず、移設のみであった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 基準点の少ない集落に設置を行っていく。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 市内全域に基準点があるのが理想だが予算の都合上すぐに全域に設置するのは無理	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 なし	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 正確な基準点の設置には専門業者による施行が必要	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 職員が行う事務としては、計画・契約・検査・支払いなのでこれ以上の業務時間削減はできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 基準点の管理は行政であるため移行はできない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

以前から基準点を道路敷きに設置してきており、道路改良等で紛失する場合もあるので、事前に施工者への指導を行う。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						